

家庭学習について

フォローアップ担当

○取組の目的

- ・意欲をもって家庭学習ができるような環境を，児童自ら整えていく力を身に付けさせる。
- ・決められた家庭学習だけでなく，自ら考えて学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
- ・家庭学習をやり切り，基礎学力の定着につなげる。
- ・帰宅後の生活リズムの習慣化を図る。
- ・保護者と家庭学習における共通理解を図る。

○現状

- ・提出率はどの学年も 100%である。(持って来るのを忘れた場合は，学校でしている。)
- ・休み明けに宿題を忘れてくる児童が固定化しつつある。
- ・家庭学習をするとき，集中の持続が難しかったり，文字が乱れたりすることがある。
- ・分からないところをそのままにして提出する児童や，答えを適当に書いている児童がいる。

○学年に応じた内容と学習する時間

	1・2年生	3・4年生	5年生	6年生
内容	音読 読書 計算カード 国語 算数 柔軟運動 自主学習 おしえてプリント	国語 算数 音読 読書 リコーダー 柔軟運動 自主学習 おしえてプリント ／よみかきプリント	国語 算数 音読 読書 リコーダー 柔軟運動 自主学習 よみかきプリント	国語 算数 音読 読書 リコーダー 柔軟運動 自主学習 よみかきプリント
時間	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上
家庭学習の約束をする	<ul style="list-style-type: none"> ○決まった時間に決まった場所で学習する。 ○集中して学習する習慣を身に付ける。 ○ていねいに取り組む。(字・線・消しゴムを使う。ノートの書き方など) ○分からないところをそのままにしない。 (自分で調べる。家の人に聞く。次の日に先生に聞くなど。) ○生活リズムの習慣化 (例 帰宅→手洗い・うがい，着替え→家庭学習→翌日の準備→夕食・お風呂→就寝) ○テレビを消して学習する。 ○おやつを食べながらしない。 			

○今後の取組

- ・児童に家庭学習の取組の意識アンケートを実施し，家庭学習の仕方の向上を目ざす。
- ・保護者へ取組の内容を知らせ，協力をお願いする。